

台湾からの留学生（陸上短距離）陳 羿岑(チェン・イーシェン) 選手 公開練習

陳 羿岑選手は、5月に香港で開催された陸上U20アジア大会女子400mで2位に入り、名古屋市で開催されるアジア大会陸上競技に台湾代表として出場することが決定しました。また、7月に滋賀県で開催される全国高校総合体育大会（インターハイ）に本校選手として出場します。

同選手は、全国高校総体予選の東海大会で、女子400m、4×100m、4×400mリレーに優勝しました。現在、400mで全国高校ランキング1位の記録を持っています。

下記のように、全国高校総合体育大会（滋賀県）、アジア大会（名古屋市）に向けての練習を公開します。取材の検討を何卒よろしくお願いいたします。

- 日 時 : 2026年7月7日（火） 受付：15時30分～
- 場 所 : 中京大学附属中京高等学校 運動場（名古屋市昭和区川名本町122）
- 内 容 : 陳 羿岑とリレーメンバーの練習
その他、インターハイ優勝候補者の練習を公開します。
（男子110mH小木曾蒼真、女子800m今枝瞳）

取材の申し込み：

別紙2「取材連絡用紙」にご記入の上、FAX（052-752-5488）にお送りください。
間に合わない場合は、直接学校へお越しく下さい。

●お問い合わせ先

中京大学附属中京高等学校 担当・渡邊眞佐信
電話番号：052-761-5311（平日9時～16時）
メールアドレス：watanabem@chukyo.ed.jp

* 梅村学園と台湾スポーツとの関係について

昭和6年、台湾が日本統治下での夏の甲子園大会は、台湾の学校も参加して決勝戦が嘉義農林対中京商業でした。当時の様子が2014年に台湾で映画化されました（永瀬正敏・大沢たかお出演）。中京大学教授安田矩明（ローマ五輪選手）が台湾生まれであったことから台湾の陸上選手が多く留学しました。その中で、陳全寿（メキシコ五輪陸上競技選手）さんは中京大学で学び、約20年間中京大教授として学生を教えました。帰国後は台湾行政院体育委员会主任委員（日本のスポーツ庁長官にあたる）を務め、2020年の東京オリンピックの台湾強化委員長を歴任させました。以上のような台湾と梅村学園との長年のつながりから双方の陸上関係者から日本で陳 羿岑選手を育てよう！という話になり昨年11月から名古屋市立藤森中学校へ入学。そして、4月から本校で学んでいます。

【別紙】

台湾からの留学生（陸上短距離）
陳 羿岑(チェン・イーシェン) 選手 公開練習
(2026年7月7日)

取材連絡用紙

貴社名			
人数	人	部署名	
代表者名			
ご連絡先			
緊急ご連絡先			
以下はテレビ局のみご記入ください。			
番組名			
放送日時(予定)			

中京大学附属中京高等学校 FAX 052-752-5488